広報 あさぎり

2月15日
No.254

発行所　麻生町1561－9
発行人　麻生町役場
印刷所　麻生印刷
小沼幸蔵
電話②0811㈹

〈人口〉

男	8,994人
女	9,183人
計	18,177人
世帯数	4,103戸

2月のメモ

1日　農業基本調査
10日　統計調査員協議会幹事会
12日　選挙管理委員会、漁業協同組合合併推進会議
13日　町議会議員一般選挙告示
18日　選挙管理委員会
20日　町議会議員一般選挙投開票
25日　都市計画審議会
26日　統計調査員協議会総会
27～28日　例月出納検査
例月出納検査　国保税徴収

第一回臨時町議会

幼稚園保育料入園料千円に

昭和五十一年第一回臨時町議会が、一月十四日午後一時から開催され、麻生町在宅重度心身障害児福祉手当支給条例の一部改正など、三議案が原案どおり可決されました。

〔議案第1号〕

麻生町在宅重度心身障害児福祉手当支給条例の一部を改正する条例

これまで二十歳未満の在宅重度心身障害児で、身体障害福祉法に定める障害程度等級表の一級または二級に該当する者について、町条例によって福祉手当が支給されていましたが、国の法律（特別児童扶養手当等の支給に関する法律）により十月一日から支給されることになったので、条例の一部を改正したものです

〔議案第2号〕

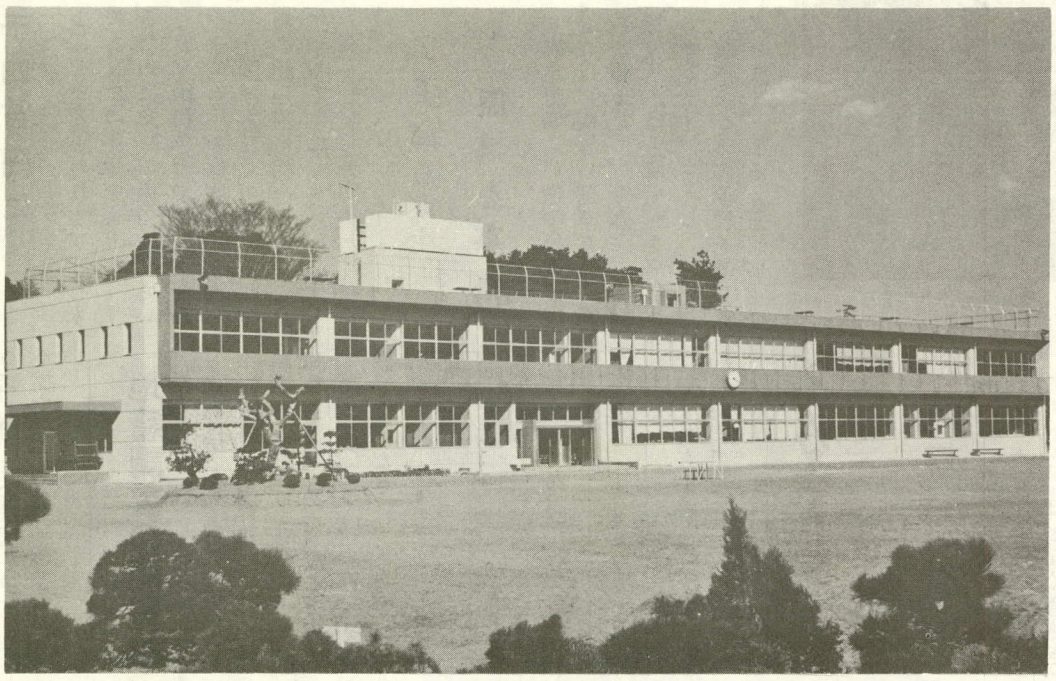
麻生町立幼稚園設置条例の一部を改正する条例

町立麻生幼稚園では、従来教諭四人をおいていたが、一人を増員し五人をおくことにしたものです。

〔議案第3号〕

麻生町立幼稚園保育料・入園料徴収条例の一部を改正する条例

町立幼稚園の保育料は、従来月額五百円、入園料五百円であったのを、四月一日からそれぞれ千円にすることになったものです。



校舎・校庭ともに整備された行方小学校

行方小 校舎完成

町立行方小学校防音校舎の改築内装工事が完了し、さる二月二日竣工検査がおこなわれました。

行方小学校の改築は、国庫補助金一億一千六百二十六万六千円および簡易生命保険資金二千八百十万円の融資を受けて工事をおこなったものです。

第一期工事（軀体工事）は昨年二月十二日に開始、総工費六千九百四十万円をかけ、同年六月に完了しました。次いで第二期工事（改築内装工事）は八月一日から開始され旧校舎の解体工事を含む総工費一億五百三十五万五千円で一月三十一日完了したものです。

校舎は、鉄筋コンクリート造陸屋根二階建、床面積は延べ千七百四十五・四九三平方メートル。普通教室六室のほか特別教室など五室を備え、前方には、緑の丘と霞ケ浦が望める、きわめて環境のよい立派なものです。

全校生徒百九十六名は、すでに新校舎へ引っ越して、新たな気分で学習に励んでいます。

春の火災予防運動

二月二十九日～三月十三日

幸せを明日につなぐ　火の始末

火災が発生しやすく、また季節風等により大火になりやすい時期にあたり、火災予防思想の高揚をはかり、火災を防止し、火災による死傷者の発生を防止するとの趣旨で、春季全国火災予防運動が実施されます。

まず、私たちの身近なところから安全を点検して、火災発生の防止と人命損傷事故の絶滅に心がけましょう。

次に防火診断等の事項をかかげてみます。

⊙暮らしの中の防火点検

1たばこの投げ捨てと寝たばこの防止

2ガス器具の正しい使いかたの習熟

3おでかけ前、おやすみ前の火のもと点検

4老人、子供、病人の安全避難の確保

5消火器具の準備と消火テクニックの習得

⊙危険物施設の安全管理

1危険物施設の安全点検

2緊急時の通報連絡体制の整備

3保安教育の徹底

町県民税 所得税 申告をお忘れなく

日頃、納税につきましてご協力をいただき厚くお礼申しあげます。

本年も町県民税の申告時期がまいりましたので、次の日程により申告納税相談をおこないます。

申告については、昨年と同様、所得税の確定申告書を提出するかたは、町県民税の申告は必要ありません。また、事業税の該当者で、県民税の申告書を提出するかたは、事業税の申告書を提出する必要はありません。

その他詳しいことは、税務課へおたずねください。

〔町県民税申告の日程〕

対象地区	期日	時間	会場
麻生地区	三月四・五・六・八日	前九～後四時	役場第二会議室
太田地区	二月六・七日	〃	太田公民館
大和地区	二月六・二十一日三月二・三日	〃	大和公民館
行方地区	三月九・十日	〃	行方幼稚園
小高地区	三月十一・十二日	〃	小高中央公民館

〔所得税申告の日程〕

対象者	期日	時間	会場
農業者	二月二十三・二十四・二十五日 三月一日	午前九時～午後四時	役場第二会議室
少額営業者 会場役場指定の者	二月二十六日	〃	〃

麻生町議会議員一般選挙

告　示　2月13日㈮

投　票　2月20日㈮ 午前7時～午後6時

麻生町選挙管理委員会では、昭和51年3月2日任期満了にともなう麻生町議会議員一般選挙を、2月13日告示、2月20日投票と決定しました。

〈不在者投票〉

2月20日の投票日に、仕事や旅行などのために投票ができないかたは不在者投票をしてください。

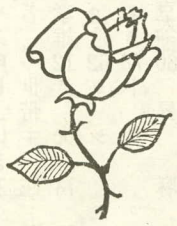
不在者投票は、2月13日から2月19日までの期間内にできますから、いんかんを持参のうえ、役場の選挙管理委員会へおいでください。

また、病気やお産などで入院中のかたは、その病院が不在者投票のできる指定病院の場合であれば、その病院の中で投票ができます。

さらに、重度身体障害者、戦傷病者については、郵便により不在者投票ができます。

不在者投票の手続きなど、くわしいことは、町の選挙管理委員会へおたずねください。

☆贈ってはいけません
☆求めてはいけません
☆受けとってはいけません



〔善〕〔意〕

船子の石橋章さんは、校舎新築記念として行方小学校へ郵便受箱一個を贈りました。

於下の川尻二三夫さんは、行方小学校へ保健室用寝台、マット、寝具一式を贈りました。

善意銀行へ次のかたが預託されました。

篭田の小牧シゲさんは、大和第一小学校へうさぎ二羽。

蔵川老人クラブは、大和第一小学校へぞうきん五十五枚。

篭田の柏葉みきさんは、大和第一小学校へうさぎ二羽。

蔵川の倉河昌さんは、大和第一小学校へ竹ほうき二十本

篭田老人クラブは、大和第一小学校へぞうきん百三十六枚。

麻生の高橋仁さんは、下渕老人クラブへ一万円。

於下の老人クラブ祐寿会は行方小学校へぞうきん百四十枚。

小高の内山光男さんは、小高前谷老人クラブへ五千円。

小高の岡野勘次郎さんは、小高前谷老人クラブへ一万円

粗毛の池田正志さんは、町内生活困窮者へ子供用自転車一台、子供用衣類、はきもの各数十点。

国民年金の保険料が改められます

四月から千四百円に

昭和五十一年四月から国民年金の保険料は、これまでの千百円から千四百円に改められます。

国民年金は、年をとったり、障害者となったり、あるいは母子世帯になったりしたときに年金を支給して、加入者の生活の安定を図るためのものです。そのために、一昨年の春には大幅に年金額が引上げられ、また、一昨年、昨年と二年連続で物価スライドによる増額がおこなわれ、合わせて四一・五%も年金額がふえました。このようなこともあって四月分から保険料は、一ケ月につき千四百円になります。国民年金制度が健全に発展していくためには、これからも引き上げを図らなければならないと思われます。将来のあなたの年金をよりよくするためにぜひご協力ください。

なお、国民年金では、あなたが千四百円の保険料を納めると、国はあなたの受ける年金額の約三割に相当する額を負担することになっています。

「しろばら麻生」原稿を募集

麻生町明るい選挙推進協議会では、明るい選挙常時啓発の一環として、今春、友の会報「しろばら麻生」を発行する予定です。

皆さんからの原稿を募集しています。明るく正しい選挙の推進にふさわしい内容のものを、気軽にご応募ください

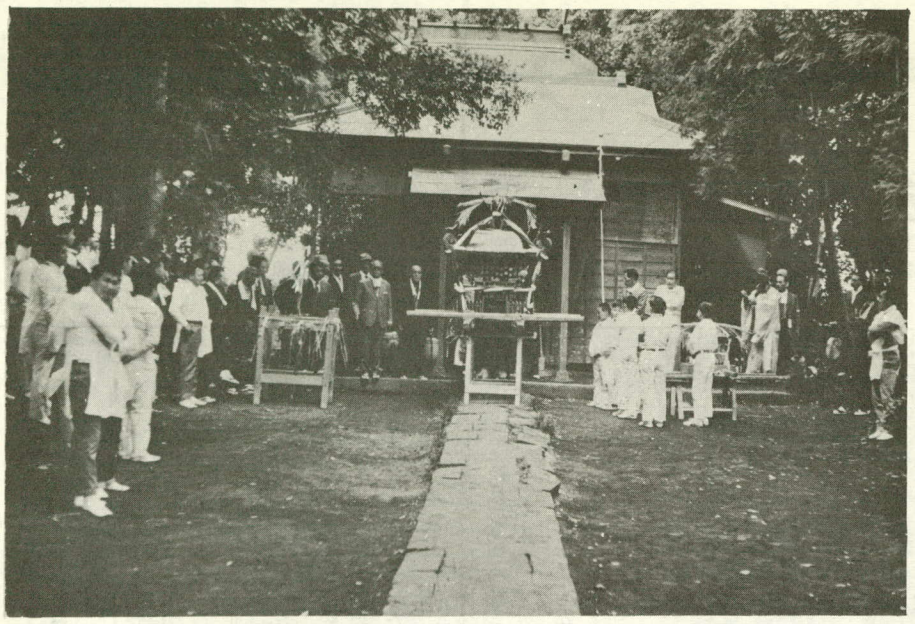
◇締　切　三月十五日
◇提出先　役場総務課

地籍調査の閲覧を

大和地区の一部（四鹿・杉平・板峰）を実施していた地籍調査が終了しました。この閲覧を次の日程でおこないますので、印かん持参のうえ確認してください。

対象地区	期日	場所
四鹿	2・23、24、25	四鹿集会所
杉平	2・26、27	杉平養蚕飼育所
板峰	3・1、2	〃

（いずれも午前九時から午後四時まで）



祭の日の大麻神社境内

ふるさとめぐり ⑥

大麻神社

麻生から鉾田方面への道をたどり、ゆるやかな坂道を登っていくと、ほどなく道路ぎわ左手に、鳥居が立っています。大木におおわれて、ひっそりと大麻神社がまつられています。

大麻神社は、大同元年（八〇六）の創建とされていますが、付近に大宮台貝塚などがあり、古代より信仰の対象物がまつられていたものと推測されます。

武甕槌命、経津主命、外五柱が祭神としてまつられており、毎年十月十七日を中心に三日間祭典がおこなわれます

麻生の里には、古くは霞ケ浦の渚辺に、大きな麻がおい茂っていたというところから大麻神社の名がつけられたと思われます。

麻の広場

五十年度 健康優良児を表彰

昭和五十年度、町の健康優良児表彰式が一月三十日、役場会議室でおこなわれました

表彰された優良児と関係者

麻生町の乳児二百五十名、三歳児二百七十名のうちから審査の結果、心身ともに健康優良児として認められた乳児十名、三歳児五名が表彰を受けたものです。

表彰を受けたかたは次のとおりです。

〔乳　児〕

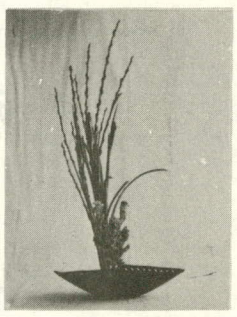
氏名	保護者	住所
根本　善行	操	小高
山野　利一	治	石神
久保田久美子	治	篭田
高野　悦哉	哲郎	五町田
庄司　嘉治	直行	麻生
藤崎　高行	英雄	新宮
羽生　幸嗣	吉広	麻生
前川　清治	忠男	井貝
堀越　慶一	雅行	於下
川島　修一	常夫	富田

〔三歳児〕

氏名	保護者	住所
宮崎　直美	一昭	天掛
香取　秀義	ひで子	小牧
高野　和彦	利忠	麻生
古田　英之	知之	〃
高栖　理恵	利一	島並

今月のいけ花

春のおとずれ



立春も過ぎて、柳の芽もふくらみ、いよいよ春がおとずれてきました。

銀芽柳に濃紺のアイリスと菜の花をあしらってまとめてみました。

菜の花は、思いきり下葉をおとして根もと全体をすっきりと整理すると、いっそうのびのびとした春のさわやかさが感じられます。

花材／銀芽柳、アイリス、菜の花

花器／黒色ひし形水盤

三月の心配ごと相談

日時　四・十一・十八・二十五日（毎週木）午後一～三時
場所　役場厚生課

三月の年金相談

日時　二十二日（月）午前九～午後三時
場所　役場第三会議室

ボランティア活動に参加を

茨城県内には、百余りのボランティア・グループがあり失われゆく社会連帯感をよみがえらせ、住みよい地域社会づくりをめざしています。

次にいくつかの例をあげてみます。

◇援護や養育を必要とする人々への活動

ねたきり老人、ひとり暮らし老人、体の不自由な人々への訪問活動、目の不自由な人に手紙などの代筆・代読・耳の不自由な人々への手紙活動など。

◇身近に住む人々や地域社会のための活動

道路、公園、遊び場などの点検と管理、交通安全活動、保健福祉活動、体の不自由な人々や老人が自由に歩けるような環境づくり活動など。

◇社会福祉施設などの機能を高める活動

施設の清掃、整備、修繕、入所者とのふれ合い、スポーツ援助などの活動です。

ボランティア活動に参加したいかたは、茨城県社会福祉協議会（水戸市千波町後川七四五、電話水戸41－一一三三）へお問い合わせください。

これらの協議会では、ボランティアの登録や、活動しているグループの紹介、あっ旋などの相談に応じています。

戸籍の窓口

おめでとうございます

出生者	世帯主	住所
浜田　洋美	晋	富田
海老原　守	弘	〃
菅谷真由美	多美男	粗毛
小林　務	貢	麻生
平山　大介	幸雄	〃
小沼　純子	佑亨	〃
羽生富士生		〃
高野　智弘	利勝	〃
土子　純代	勇	矢幡
荒野恵美子	徳一郎	〃
堀越　夕子	七之助	石神
坂本　香織	貞義	〃
下河辺　徹	行雄	〃
平山　明美	高徳	宇崎
内山　玉江	一郎	青沼
大里久美子	美代治	島並
宮本　智也	好次	島並
飯河　純子	俊秀	〃
額賀　高幸	スイ	南
羽生　千里	太郎	〃
畑木　美穂	新之助	小高
渋谷佐代子	政司	〃
渋谷とし子	達雄	〃
高野　利行	利作	於下
平山　雅啓	〃	〃
鬼沢　祐行	弘	〃
中嶋　幸雄	操	〃
蜷川　正憲	正行	方
小沼　順子	豪	〃
大久保正孝	欽司	船子

おくやみ申し上げます

死亡者	年令	世帯主	住所
榊原　信行	61	りん	麻生
大崎　弘子	35	一	矢幡
谷田川はる	78	浩	根小屋
小沢　兵衛	76	高之	白浜
高野　タマ	74	三郎	〃
荒張　宗弥	60	のぶ	青沼
小林　とみ	54	重雄	〃
根本常太郎	72	三郎	四鹿
中根　四郎	81	五男	小牧
平塚　敬次	75	昭二	新宮
鬼沢　虎雄	79	静子	〃
高崎　昌平	80	嘉秀	〃
大里　ミツ	61	昇	島並
浅野　せつ	97	純	南
高田　いと	89	儀勝	〃
額賀　ミノ	70	淳雄	小高
安藤　泰明	64	タツ	於下
高野　はな	79	正一郎	〃
浜田　政吉	80	寅雄	〃
鈴木日吉太郎	80	昇	麻生
杉山　あき	78	トヨ	〃
石神　金造	62	ヨシ	〃
平塚　弘	〃	〃	〃
中嶋　操	〃	〃	〃
高崎　昌平	〃	〃	〃
大里　ミツ	〃	〃	〃
浅野　せつ	〃	〃	〃
高田　いと	〃	〃	〃
額賀　ミノ	〃	〃	〃
安藤　泰明	〃	〃	〃
高野　はな	〃	〃	〃
浜田　政吉	〃	〃	〃
鈴木日吉太郎	〃	〃	〃
杉山　あき	〃	〃	〃
石神　金造	〃	〃